

# 魚病診断結果

田中真二・中西尚文・羽生和弘・栗山 功・西川久代

## 目的

県内の養殖魚等の魚病発生状況を把握するとともに、その対策指導を行い、魚病被害の軽減をはかる。

## 方法

平成19年4月～平成20年3月に水産研究部，同尾鷲水産研究室および同鈴鹿水産研究室に診断依頼のあった病魚について，病気の診断を行った。

## 結果および考察

総診断件数は302件（海産魚介類298件，淡水魚類4件）であった。

魚種，魚病別の診断結果を表1～5に示す。マダイでは，

昨年度に引き続き，夏季を中心に粘液胞子虫性やせ病が0歳魚で多発した。夏季～秋季の出荷魚では，診断件数は1件のみであったものの，上湾症魚が1～数%みられるという現場情報が多数寄せられた。冬季には，ヒラメで平成15年度に初めて県内で確認されたウイルス性出血性敗血症がマダイでも確認された。

ブリでは，近年少なかった類結節症が多発した。また，ブリおよびカンパチで，*Streptococcus dysgalactiae*によるレンサ球菌症が県内では初めて確認された。

マハタでは，出荷や淡水浴の際に鰓が膨張して水面で横転し，死に至る「突然死」が7月に1件確認された。

カワハギでは，冬季に複数の病気（滑走細菌症，ピブリオ病，レンサ球菌症およびスクーチカ症）の併発による，長期にわたる大量死が数例みられた。

表1. マダイの診断結果

病名	年齢	月別診断件数												計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
イトウイルス病	0				4	11	15	7							37
	1						7	3							10
	2						1	1							2
ウイルス性出血性敗血症	1												4	4	
ウイルス性白血病	0						1	2	2	2	1		8		
ピブリオ病	0	2	2	2									6		
滑走細菌症	0	1									1	1	3		
	1	1											1		
ピブリオ病	0			1	1								2		
	1				2								2		
イトウシエ病	0				1	2	2	1	1				7		
	1					2	1						3		
イトウシエ病	0				1								1		
白点病	2					1							1		
心臓初期症	0					1	1						2		
粘液胞子虫性やせ病	0	1	1	2	2		1	1					8		
ハナシエ病	2	1											1		
ピバキナ症	0		2	2				1	3	4			12		
	1	2											2		
血管内吸虫症	0				2	1						1	4		
	1					1		1				1	3		
化カ鉤頭虫症	1					1	1			1			3		
皮膚カガシ症	1							1	1				2		
体表ス	1						1						1		
	2										1	1	1		
黄脂症	2					1							1		
餌料障害	1	1											1		
輸送障害	0	3											3		
低水温障害	0										1	1	1		
	1											1	1		
上湾症	1					1							1		
不明	0				3	1	1		1	1			7		
	1	1				1	1			2			5		
	2	1					1						2		
小計		10	4	5	11	24	36	20	6	5	6	17	4	148	

表2. ブリの診断結果

病名	年齢	月別診断件数												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
イトウイルス病	0											1		1
ウイルス性腹水症	0		2	1										3
ピブリオ病	0	2	3	2										7
類結節症	0		1	6	2									9
	1				2									2
レンサ球菌症( )	0				1	1	4							6
	1			1	1									2
レンサ球菌症	1					3								3
( <i>S. dysgalactiae</i> )														2
カガシ症	1													2
細菌性溶血性黄疸	1				1									1
ハナシエ病	0			1	2									3
吸虫性旋回病	0				3									3
他，体表ス(原因不明)	0				1	1								2
不明	0										1			1
	1					3								3
	2				1									1
小計		0	4	8	22	3	4	8	0	0	0	0	0	49

表3. ヒラメの診断結果

病名	年齢	月別診断件数												計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ウイルス性出血性敗血症	0													1	1
滑走細菌症	0													1	1
レンサ球菌症	0											1		1	
	1											1		1	2
イトウシエ病	0						1							1	
鰓カガシ症	0			1										1	
スクーチカ症	0		1											1	2
窒素ガス病	0	1												1	
小計		1	2	0	0	1	0	0	0	2	0	0	4	10	

表4. トラフグの診断結果

病名	年齢	月別診断件数												計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
滑走細菌症	0		1												1
トリブナ症	3		1												1
心臓外ア症	1					1	1								2
粘液胞子虫性やせ病	0					1									1
ギョウケル症	1					1	1								2
行跡ケル症	0					1									1
	1				1										1
背部ル	3		1												1
不明	0		1												1
	1					1									1
小計		1	4	2	1	0	5	2	0	0	0	0	0	0	15

感受性ディスク法による主要病原菌の薬剤感受性試験の結果を表6に示す。今年度多発したブリの類結節症の原因菌は、一部の薬剤に耐性を示す株が認められたものの、概ね薬剤感受性は高く、治療には支障はなかった。

表6. 主要病原菌の薬剤感受性

ブリ 類結節症 原因菌					
薬剤名	菌 株 数				計
	-	+	++	+++	
エリスロマイシン			1	1	2
塩酸オキシテトラサイクリン	2	2	4	1	9
オキシソリン酸	1	2		6	9
フロルフェニコール				10	10
チアンフェニコール	2				2
アンピシリン	1			10	11
安息香酸ピコザマイシン				5	5
ホスホマイシンカルシウム			2		2

  

ブリ レンサ球菌症 原因菌 ( )					
薬剤名	菌 株 数				計
	-	+	++	+++	
エリスロマイシン			2	6	8
塩酸オキシテトラサイクリン			2	6	8
フロルフェニコール			1	3	4
アンピシリン			2	2	4

  

ブリ レンサ球菌症 原因菌 (S. dysgalactiae)					
薬剤名	菌 株 数				計
	-	+	++	+++	
エリスロマイシン		1		1	2
塩酸オキシテトラサイクリン		1	1		2
フロルフェニコール				2	2
アンピシリン	1			1	2

  

マダイ エドワジエラ症 原因菌					
薬剤名	菌 株 数				計
	-	+	++	+++	
エリスロマイシン			1	1	2
塩酸オキシテトラサイクリン				5	5
フロルフェニコール				4	4
アンピシリン	1			1	2

表5. その他の魚種の診断結果

(魚種)	病名	年齢	月別診断件数												計
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
<b>(マハタ)</b>															
ウハ性神経壊死症		0							1	1					2
		1								1					1
		3		1											1
ヒナリ病		1						1							1
秘行ア症		1						1							1
突然死(原因不明)		4						1							1
不明		2							1						1
		3								1					1
<b>(ケエ)</b>															
ウハ性神経壊死症		1								1					1
滑走細菌症		1											1	1	
腸閉塞		0											1	1	
不明		1							1					1	
		3								1				1	
		4								1				1	
<b>(イサキ)</b>															
真菌病		0						1							1
輸送障害		2	1												1
<b>(スズキ)</b>															
脳粘液胞子虫症		不明						1							1
<b>(クロダイ)</b>															
滑走細菌症		0								1					1
ヒナリ病		0								1					1
輸送障害		0								1					1
<b>(マアジ)</b>															
ヒナリ病		0	1												1
		1								2	1				3
シガ球菌症		0			1										1
<b>(シマアジ)</b>															
ウハ性神経壊死症		1											1		1
シガ球菌症		1											1		1
<b>(カンハチ)</b>															
ウハ性神経壊死症		0						1							1
類結節症		0						1							1
ヒナリ病		0							2						2
		1							1						1
シガ球菌症		0							3						3
(S. dysgalactiae)		1							3						3
血管内吸虫症		0												1	1
不明		0						2							2
		1							1	1					2
<b>(カワハギ)</b>															
滑走細菌症		0											1	1	3
ヒナリ病		0											2	1	3
シガ球菌症( )		0												1	1
シガ球菌症( )		0								1	1				2
		1								1					1
シガ球菌症(種不明)		0								1					1
アノ症		0												1	1
低水温障害		0												2	1
不明		0								1				1	2
		1								2	2				4
<b>(ウマツラハギ)</b>															
不明		0						1							1
<b>(クロマグロ)</b>															
ウハ性神経壊死症		0								1					1
<b>(マアサゴ)</b>															
滑走細菌症		1	1												1
ヒナリ病		1	1												1
不明		0									1				1
<b>(カサゴ)</b>															
シガ球菌症		1									1				1
鰓アノ症		1													1
不明		0												1	1
<b>(サツキマス)</b>															
不明		1											1	1	2
<b>(ウグイ)</b>															
不明		不明			1										1
<b>(アユ)</b>															
不明		0								1					1
<b>(マゴイ)</b>															
ウハ性神経壊死症		不明								1					1
<b>(ニシキゴイ)</b>															
ウハ性神経壊死症		不明											1		1
不明		不明								1					1
小計			2	4	6	4	10	18	11	6	5	2	7	5	80